

田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略

(平成28年度重点説明資料)

- | | |
|--------|-----------------|
| 基本目標 1 | 産業振興による雇用の創出 |
| 基本目標 2 | 人材の定着・環流・移住の推進 |
| 基本目標 3 | 結婚・出産・子育て環境の整備 |
| 基本目標 4 | 持続可能で元気な地域社会の形成 |

平成29年6月21日

田布施町地方創生検討委員会

基本目標 1 産業振興による雇用の創出

目標数値

雇用創出数

50人

基本的方向

1 若者の大学進学や就職等をきっかけに町外に転出し就職しているため、様々な産業団体、企業などによる連携体制を構築し、既存産業の支援を図るとともに、新たな雇いを創出します。

アクションプラン (1) 雇用の創出

- ① 企業誘致の促進
 - ア. 企業立地奨励金交付事業
 - イ. サテライトオフィス等推進事業(光ファイバー網整備)
- ② 中小企業の支援
 - ア. 柳井地域合同就職面接会
 - イ. 創業支援事業
 - ウ. 売れるものづくり支援事業

2 農林水産業の担い手を確保するため、地元生産者や団体と連携し、受け皿づくりを行い、新規就業者を促します。

3 地元生産者、事業者、学校、特産品委員会、直売店など関係機関と連携し、特産品の掘り起こしや開発、売込強化、6次産業化の取組を行います。

アクションプラン (2) 農林水産業の振興

- ① 農林水産業の担い手の確保と育成
 - ア. 新規就業者促進事業
 - イ. 農林漁業体験事業
 - ウ. 農林水産物販路拡大事業
 - エ. 農水産物ブランド化調査・検討事業
 - オ. 国営緊急ほ場整備事業
- ② 構造特区改革の活用
 - ア. 地域経済循環事業

4 幅広い産業や団体及び地域を活性化させるため、新たな観光資源の掘り起こしや開発、魅力ある観光メニュー、特産品のブランド開発に努めるとともに、交流人口拡大に取り組みます。

アクションプラン (3) 観光産業の育成・支援

- ① 観光開発連携事業
 - ア. 体験型観光事業
 - イ. 特産品開発事業
 - ウ. のんびらんど・うましま利用促進事業
 - エ. 新たな観光拠点の検討事業

平成27年度実績	9人
平成28年度実績	28人
<p>○ 雇用創出数の目標数値は、新たな雇用の場を創出した人数を累計で計上しています。</p> <p>○ 平成28年度の実績ですが、オラレ誘致に伴う雇用増が大きいです、企業誘致や農林水産業の新規就業で実績はしっかり出ています。</p>	

主な戦略の取組みと問題点

主な戦略の取組みと問題点	キーワード(例)
<p>(1) 雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> オラレ(場外舟券売り場)誘致により、雇用が増加し、また当初見込みより売上も良いため、町への売上手数料の見込みも当初を上回る予定です。 また、既存企業の追加投資による企業立地奨励金の実績は毎年ありますが、用地が不足しており新規立地によるものはありません。・・・① 企業誘致の促進 ア 県協議会によるサテライトオフィスの候補地の現地調査などに取り組んでいます。・・・① 企業誘致の促進 イ 合同就職面接会の開催、創業支援事業計画の推進、創業補助金の創設等の取組みを実施しています。・・・② 中小企業の支援 ア・イ 	<p>企業誘致</p> <p>創業支援</p>
<p>(2) 農林水産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就業者を推進し、新たな雇用創出に向けた取組みを着実に実施します。・・・① 農林水産業の担い手確保と育成 ア・オ ブランド構築検討委員会の中で、新たな特産品の開発や、新たな雇用の創出に繋がる取組みを実施していきます。また、特産品の原材料(例:イチジク)の生産量を確保するための調整を行っています。・・・① 農林水産業の担い手確保と育成 イ 	<p>特産品開発</p> <p>イチジク農家の継承</p>
<p>(3) 観光産業の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験型農業観光について、今後、IJU推進協議会や観光協会など関係団体などと連携して取り組んで行く必要があります。・・・① 観光開発連携事業 ア 国交付金を活用してブランド構築検討委員会で特産品開発を実施しています。引き続き商品開発やパッケージのリニューアルを行います。・・・① 観光開発連携事業 イ のんびらんどうましまは、平成29年度も婚活イベントや町子連による活動を予定しており、町内小学校が訪れることも予定しています。・・・① 観光開発連携事業 ウ 新たな観光拠点の検討として、駅舎内キオスクの活用については課題が見えてきました。その中で、既存施設の拡充も含めて検討を行って行きます。・・・① 観光開発連携事業 エ 	<p>のんびらんどうましまの活用</p> <p>キオスク跡地の利活用</p>

基本目標 2 人材の定着・環流・移住の推進

目標数値

人口の社会的減少の抑制 +39人（平成32年）

基本的方向

1 本町の多彩な資源を活用し、交流人口の増加を図ると共に、本町の魅力を内外に浸透させ、本町の認知度向上やイメージアップを図り、移住・定住意欲の醸成を地域や各種団体と連携して取り組みます。

アクションプラン (1) UJIターンの推進

- ① 都市と農山漁村との交流
 - ア. たぶせIJU促進事業
 - イ. 地域おこし協力隊事業

2 若者の大学進学時や就職時に県外への転出が多数に及んでいます。県内進学や県内（町内）就職の促進等により、大学生等の若者や女性の町内への定着を図り、県内に所在する大学等の活性化、企業等における地方採用・就労の拡大に取り組みます。

アクションプラン (2) 大学等の連携・協働による若者の定住促進

- ① 大学等の連携・協働による若者の定住促進
 - ア. 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業

平成27年度実績	+8人
平成28年度実績	+23人

○ 人口の社会的減少の抑制の目標数値は、田布施町人口ビジョンにおいて、移動率を平成47年以降、転出超過となっている年代の転出数をゼロとして独自推計しているため、平成32年の時点で社会的減少を△45人から△6人へ抑制することにしています。

○ 平成28年度実績は△22人であり、社会的減少を23人抑制しています。平成27年度実績は△37人であり、段階的に社会的減少を抑制しています。

主な戦略の取組みと問題点

(1) UJIターンの推進

- ・ 移住体験暮らしツアーを実施しましたが、参加者が少ないのが現状です。今後は農業体験と連動しての開催や新たな取り組みも実施します。・・・① 都市と農山漁村 ア
- ・ ツアー参加者の意見や移住・定住を検討している人の意見を参考に、受け入れ態勢の整備をおこない、地域住民・企業・団体など町全体で移住・定住を推進できる気運を高めることが今後、重要となってきます。・・・① 都市と農山漁村 ア

(2) 大学等との連携・協働による若者定住促進

- ・ 山口大学と広島市立大学の両大学の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の枠組みを活用して、本町の地方創生事業とタイアップしてできる各種施策を今後、検討実施していきます。
・・・① 大学等との連携・協働による若者定住促進 ア

キーワード(例)

農業体験(イチジク)

移住者の受入

近隣からの転入

孫ターン

おいでえ

基本目標 3 結婚・出産・子育て環境の整備

目標数値

年少人口(0歳~14歳)

1,836人(平成32年)

基本的方向

1 若い世代の視点に立ち、安心して結婚、妊娠・出産、子育てできる環境づくりを進めていくため、経済的支援を図るとともに、妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援や、子ども・子育て支援の充実に取り組みます。また、女性が仕事と生活の調和に向けた就業環境づくりや子育ての環境整備に取り組みます。

アクションプラン (1) 若い世代の結婚、妊娠・出産・子育ての支援

- ① 安心して子どもを産み育てられるサポート体制の充実
 - ア. 婚活イベント開催事業
 - イ. 妊娠・出産のサポート体制の充実
 - ウ. 子育てのサポート体制の充実
- ② 出産・子育て支援の充実
 - ア. 出産・子育ての負担軽減
 - イ. 子育て支援事業の充実

2 ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを増やすとともに、社会総がかりでの地域教育力日本一の取組を推進し、確かな学力を身につけ県内トップクラスの成績を目指します。

アクションプラン (2) 教育の充実

- ① 教育の充実
 - ア. 教育の充実
 - イ. 図書館の充実

平成27年度末年少人口	1,873人
平成28年度末年少人口	1,805人

1 年少人口（0歳～14歳）は、平成26年度末は1,913人であったものが、平成28年度末は1,805人となり、2年間で108人減少しています。

2 平成28年度末年少人口は、既に平成32年の目標数値1,836人（国勢調査数値）を割り込み、このままの減少が続くと、達成が非常に困難な状況になります。

主な戦略の取組みと問題点

主な戦略の取組みと問題点	キーワード(例)
<p>(1) 若い世代の結婚、妊娠・出産・子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 柳井広域の婚活イベント（年3回）を開催しています。しかし、年々参加人数が減少しており、運営方法の見直しを検討する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 安心して子どもを産み育てられるサポート体制の充実 ア 小学校3学年までを対象とした子ども医療費の無償化を平成29年度から実施します。また、多子世帯への保育料軽減の拡大、親元近居・子育て世代住宅取得応援事業（一部制度改正有）の実施などは継続して取り組みを実施しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・② 出産・子育て支援の充実 ア 第3子以降の子育て応援金等の新たな事業も実施するために、既存の事業の見直しや補助金等を活用した事業の検討などを行う必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・② 出産・子育て支援の充実 ア 地域交流館側に子育て広場の整備を行いました。また、子育てワークショップの取り組みの中で、子育てカフェの常設設置は難しいことが分かりました。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・② 出産・子育て支援の充実 イ <p>(2) 教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の実情に応じて、コミュニティ・スクールの活動内容の充実に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 教育の充実 ア キャリア教育の推進では、県レベルの水準以上は達成しており、更に本町独自の取り組みを検討して実施していきます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 教育の充実 ア また、県内大学と町内小中学校との交流は夏休みを活用して2つの大学と交流していますが、他の大学との連携も進めていきます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 教育の充実 ア 	<p>婚活支援</p> <p>世話人育成</p> <p>多子世帯支援 第2子から 第3子から</p> <p>子育て応援給 付金</p> <p>子育て支援</p>

基本目標 4

持続可能で元気な地域社会の形成

目標数値

地域リーダー育成

6人

基本的方向

1 町民との協働によるまちづくりを推進し、持続可能で元気で安心して生活できる地域社会を形成するため、地域リーダーやボランティア・NPO団体の育成や町民が主人公のまちづくりに取り組みます。

アクションプラン (1) 地域と地域の連携

- ① 地域コミュニティのまちづくり
 - ア. まちづくり推進事業
 - イ. 我がまちスポーツ推進事業
 - ウ. 麻里府地区活性化事業
 - エ. 買物送迎サービス事業

2 本町の多彩な地域資源を活用し、交流人口の増加を図るとともに、本町の魅力を内外に浸透させ、本町の認知度向上やイメージアップを図り、移住・定住意欲の醸成に地域や各種団体と連携して取り組みます。

アクションプラン ② 地域資源を活用したまちづくり

- ア. 河川公園開放イベント事業
- イ. 伝統芸能活用事業
- ウ. 新たな拠点づくり

3 空家や空店舗の活用、住宅の整備を通して、「住まいのまち」として良好な生活環境の確保を図るとともに、安全・安心なまちづくりに取り組みます。

アクションプラン (2) 空家対策の推進及び住環境の整備

- ① 空家対策の推進
- ② 住環境の整備

アクションプラン (3) 安全・安心のまちづくり

- ① 安全・安心のまちづくり

4 その他

アクションプラン (4) 地域情報の発信力の強化

- ① 地域情報の発信力の強化

アクションプラン (5) 広域連携の推進

- ① 広域連携の推進

アクションプラン (6) 行財政の向上

- ① 公共施設の維持管理の最適化

平成27年度実績	2人
平成28年度実績	3人
<p>○ 初代地域おこし協力隊員2人は、3年間の任期を終えましたが、馬島に定住し、たぶせIUU推進協議会などの役員として活動を引き続き実施しています。</p> <p>○ 新たに地域おこし協力隊員1人が活動をはじめ、試行錯誤で活動を行っています。</p>	

主な戦略の取組みと問題点	キーワード(例)
<p>(1) 地域と地域の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的なウォーキングの実施やウォーキングコースの追加をしています。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 地域とコミュニティのまちづくり イ ・ 買物送迎サービスは、要件の緩和を行い、コースの変更を行う予定です。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 地域とコミュニティのまちづくり エ ・ 河川公園の活用や伝統芸能の町外講演などの取組みをおこなっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・② 地域資源を活用したまちづくり ア・イ ・ 地域交流館側の駐車場整備や詩情公園への遊具、ベンチの整備をしました。新たな拠点づくりは課題や問題点も多いですが、既存施設の拡充も含め、関係団体と引き続き検討していきます。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・② 地域資源を活用したまちづくり ウ <p>(2) 空家対策の推進及び住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空家等対策計画に基づき、詳細調査を実施した上で特定空家の判断を行い、特定空家該当通知書を送付しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 空家対策の推進 イ ・ 空家の利活用については、お試し住宅の運営(1軒)や空家リフォーム事業助成金交付事業を行っています。また、固定資産税の納付書に空家バンク登録を促すチラシを同封したことによる、相談及び登録件数が増加しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・① 空家対策の推進 イ 	<p>地域での空家の活用</p> <p>お試し住宅増設</p>